215973
1
昭和25年10月18日

魯土交戦ノ近況第十三報

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

魯土交戰ノ近況第十三號十年十月二十三日發

本月十四日同十五日小亜細亜ニ於テ「ミハイル」親王ノ兵大ニ土ノ元師「ムクタルパシヤ」ヲ敗リシ一報（即チ本月十七日付電信ヲ以テ申進セシ者）ノ外ハ「ダニューブ」方面ニ於テハ「プレウナ」「ロム」「シプカ」ノ三所共ニ今日迄依然両軍相持シテ未タ進撃ヲ試ミサルヲ以テ特報スベキ程ノ事ナシ故ニ先ツ亜細亜方面ノ戰況ニ及サントス小亜細亜ヲ經テ當初魯兵ガ長驅メリセリ此報ノ北特堡府ニ達スルヤ家々皆例ニ由リ國旗ヲ掲頭ニ掲ケ日來鬱積ノ気漸ク散シ「ペルシヤヤマルスカヤ」「子フスキブロスベクト」等ノ街頭ニハ粘壁ノ電報ヲ立讀スル者堵ノ如ク又同報ケ「アレクナ」方面ニ達セシハ恰

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

ヲ落日ノ禮拜時タリシカハ魯（スラ）（名付テ「ザリヤトエフ」）恭シク神恩ヲ謝シ同夜丸（タマ）ニ乘シ
撃込ミタリ魯人ノ歓喜如是ヲ以土國ノ落膽想フ可シ抑
モ此戦ハ十月二日ヨリ戦ヒ始メテ三日ノ戦ハ先
便ニ報セシ如ク魯兵ノ死傷并テ三千三百七十三人ニ及
ヒタル程烈戦タレ共勝敗ノ形ヲ判タサリシカ先
刻ノ公報ヲ疑ヒシカ石ハ果メ例ノ土報即チ虚報タリシ
因ニ云フ迩来接到ノ日本新聞中ニアル横濱西字新聞ヨ
リ撮録セル魯土交戦ノ報ヲ讀ムニ地名人名ニ誤アルノ
ミナラス魯軍ノ敗報ヲ掲ケ大ニ実ヲ失スル者ア
リ是レ多クハ笑目ヨリノ来「ムクタルバシヤ」ハ戦線ノ長
報ナルカ故ナリ
キニ過グルヲ慮リシニヤ十月八日ノ夜ニ乘ヲ「キシルテペ」
是迩報月間魯軍ノ前進ヲ押ヘ
居タリシ一要所ナリ
ニ「キユルウヨラン」等ノ所ヲ引揚ケ「アテツゲヤ」山ノ北端
並ニ小「ヤグ」ニ山ニ移レリ魯兵ハ之ヲ見テ直ケニ追躡シ
同十一日進テ「キヂルテペ」並ニ大「ヤグ」山ニ陣ヲ布ケリ
同十三日未明ヨリ土兵十一大隊小「ヤグ」山ニ在ル魯兵ヲ襲フ此ト
キヨイ」山下リ大「ヤグ」ニ山ニ在ル魯兵ヲ攻ムト雖モ同所
ヲ守ル魯兵一大隊ニ過キサリシカ直ケニ三大隊ノ援兵
ヲ得テ遂ニ土兵ヲ逐卻ケリ時ニ土ノ右側ハ「アラツゲヤ」
山左測ハ「オルロフ」ノ高地ニ拠ヨリ元帥「ムクタルバシヤ」
ハ中軍ニ将トメ「アフリヤル」山ニ在リ同十四日魯将「ラザ
レフ」ハ部下ノ兵ヲ率ヒテ土ノ左側ヲ迂回シ側面ヨリ突
入テ土兵ヲ「アレキサンドロホル」ヨリ「カルス」ニ通スル本
道ニ北ケ散ラスニ敵兵ノ一部ハ通レテ「カルス」城ニ入リ
一部ハ「ウサゲンキヨイ」ニ走ル「ウサゲンキヨイ」ヨリ「カル
ス」城ヘハ一個ノ枝道アルニ魯兵ハ既ニ土ノ左側ヲ裁
断セレヨリ以テ翌十五日ハ「ムクタルバシヤ」ノ陣ヲ怒攻メ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

スルニ決シ未明ヨリ、アブリヤル」山（即チ土ノ中軍ノ拠ル所ヲ劇シク砲撃ル朝六時ヨリ総攻ニ打掛リ、ゼ子ラール、ヘイマン」ハ歩兵十大隊（各方人ヲ以テ前面ヨリ進ミ大ニ「ムクタルバシヤ」ノ陣ヲ敗ル「ムクタルバシヤ」ハ辛ジテ「カルス」ニ向テ走ル「ヘイマン」ノ兵直チニ之ヲ躡ス此時魯将「テザレフ」ハ側面ヨリ旋テ敵脊ニ出ツ於是テ「アラッゲヤ」ニアル土兵三「ゲフセレヨン」ハ全ク帰路ヲ断タレ烈戦力尽テ午後八時遂ニ降ル降兵ノ数ハ一万五千人以上タルベシ（魯ノ私報ニハ二万人ト云ヘリ）中ニ土将（パシヤ）七人アリ此他分捕大砲三十二門武器弾薬挙テ数フベカラズ此数ハ「タイムス」通信着（雑報ニ拠ル）而メ此両日ノ戦ニ其半ヲ亡ヘリ魯ノ総勢ハ公私両報中共ニ記載セサルヲ以テ其詳ヲ知ルニ由ナシト雖モ土兵ヨリ逢ニ多数ナリシニハ相違ナシト恐ク六七万前後タラン歟昨日魯国ノ公報ニ拠ハ去ル十五日ノ戦ニ魯兵ノ死傷ハ壹千四百四十一人ニ過キズト云ヘリ（此十七日五十六人兵卒一千三百八十五人）但シ十四日ノ死傷ハ記載ナシ

土京十九日付ノ報ニ拠ハ「ハリス」（ハリス電報アゲント）ヨリ魯兵ハ既ニ「カルス」城ニ迫リ頻ニ砲撃ヲ始メ又向府ヨリ「アルセルム」府（「カルメニヤ」ノ首府）ヘノ電線ハ捷路シテ通セズ又「ムクタルパシヤ」ハ「カルス」城ヲ出テ向府ト「サガンルク」峠（「サガンルク」峠ハ「オルス」ヨリ「エルゼルム」ヘ行ク街道ニアリ）ノ間ナル「キザルデン」ニ在リト云フ此報ノ確否ハ暫ク措キ前文ニ記セル戦場ヨリ「カルス」城迫ハ僅カ三里半遠クハ五里ニ過ギス加ルニ「カルス」迫ノ間ニハ別ニ天険又ハ人工ノ要害アルヲ

聞クベルヲ以テ魯将ハ必ラス此好機會ヲ誤ラズ直ケニ「カルス」城ニ迫リタルベキ歟ハ既ニ一部ノ兵ヲ分テ「カルス」ヨリ「エルゼルム」ヘノ通路ヲ断チタルモ知ルベカラズ土ハ前日頻リニ饋輸セレヲ以テ城兵ハ此天嶮人工ヲ恃テ数月ヲ支ヘ得ベシト雖ニ其守兵ノ数ハ十六大隊ヨリ二十大隊ニ過キザル由ナレバ外ヨリ援兵ノ来ルニアラザルヨリハ城ヲ出デヽ戦ヲ挑ム、ナクトモ只遠ニ陥ラザルヲ特ム可キナリ然ルニ「ムクタルパシヤ」ハ既ニ前文ノ如キ大敗ヲ取リシニヨリ差詰メ敗兵ヲ收拾ノ軍氣ヲ引立テ敵ノ長駆シテ「エルゼルム」ニ迫ルヲ為サルベカラス「カルス」ヲ囲ムノ敵ニ迫ルノ手立ヲ為サヽルヲ得テ数月前ノ如キハ目下殆ンド望ムヘカラサルヘシ何トナレバ「ムクタルパシヤ」ハ太抵既ニ「ボルカリヤ」方面ニ流出ヲ殆ント餘ス所ナキ由ナルニ於テヲヤ現下「ズウキン」ニアル五兵ハ僅ニ六千ニメ「エルゼルム」ニ在ル兵モ五六千ニ過キス（此兵数ハ「イウオフエ、カレミヤ」新聞ニ拠ル）夫ノ「イズマイルパシヤ」ハ四五万ノ兵ヲ卹ヒテ現ニ魯領「イクガル」ノ近傍ニ戦フト雖モ孤軍懸絶ノ断後ノ患アルヲ以テ其勢退テ「カルス」「エルゼルム」ノ間（譬ヘハ「アテレケルト」ノ如シ）ニ拠リ以テ「ムクタルパシヤ」ノ聲援ヲ為サヽル可カラズ既ニ其先陣ハ「カラロン、サラケ」道ニ退キシニ「イクゲル」ニ在ル魯将「テルダゴルソフ」ハ追撃ヲ止メ領ニ入リトノ説アリ曰ク「カルス」ハ假令如何ナル堅城タリトモ四

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

面ヲ囲マレ巨大ノ攻城砲ヲ以（魯ハ既ニ攻城砲ヲ「アレキ
ヘ送レリト（カンストハポル」ヨリ「ハルス」ニ）書ヲ寄ス
ニ）テ立テラレ之ニ次ク二多勢ノ敵兵堡塁
ヲ猥テ各所ヨリ塁ニ迫ルヲ現下「プレウナ」ノ如クニ至ル
ヲ数月ニ及ヒ而ノ援兵ノ来ルベキ目度ナキハ遂ニ餓
死カ降伏ノ二途ニ出テサルヲ得サルベシ今モシ魯兵「カ
ルス」ニ押ヘテ置キ勝ニ乗スルノ兵ヲ以テ急ニ「エルゼル
ム」ニ迫ルヲ数月前ノ如クナラシメハ「ナヴマイルバシヤ」
ノ兵ハ「ダヤゲン」「アラシケルト」「ダヤールト」「デリバー」等大
約我カ四十五里ノ長路ヲ経テ「ケプリケー」ニ出テ「ケプリ
出ル三股ヲ為ス所「カルストレト「バヤゼット」ヨリ「エル
ケー」ハ以テ「エルゼルム」ニ来テサルヲ得ス又「バツ
ム」ノ土兵ガ「エルゼルム」ニ赴クニハ我カ五十里ノ峻路ヲ経サルヲ得サルヲ以テ土兵
ノ未タ来ラサル中ニ魯兵ハ早クモ「エルゼルム」ニ達スル

ヲ得ベシトノ説アリ「ナルス」（我三十五里ニ過キス）ヨリ「ケプリケー」迄ハ然レ
如ク是ハ敵ヨリ二倍以上ノ兵数アルニアラサレハ能ハス
今「ハクタルバシヤ」ハ新タニ大敗セシト雖モ猶二万ノ兵
ヲ以テ「エルゼルム」ノ道ニ在リ加之「カルス」ヨリ「エルゼル
ム」ヘノ道ニハ「サガンルク」ナル八千尺ノ高嶺ヲ踰ヘサル
ベカラス寒風虐雪ノ候着スルヤ々々迫キニアルヲモ顧ミサル
ノ斯ル危計ニ出テントハ思ハレサルヲ去レハ魯将ハ「カ
ルス」ヲ厳重ニ取囲ミテ篤ク儆冬ノ計ヲ為シ而シテ明年
五月初旬長駆深入ノ時節来ル迫時々々攻撃ノ敵ヲ困苦セ
シムルノ計ニ出テン歟雖然是ニ因ヨリ遠地ニ在テ臆測
スルノ事ニ係ルヲ以テ其実況ハ遠カテ知メ其緒ヲ見ル
ノ足ル者アルヘシ

（原書「此ニ到リテ本日魯国ノ新聞ニ「キヨルク」ニ十一日付ノ私報ヲ載スル者アリ其言ニ云ク我兵ハ「ムクタルバシヤ」ノ敗兵ヲ捕ルヿ日ニ多ク目下生捕士官ニ百八十人卒ニ千八

人大砲四十二門ニ及ベリ「ムタダ」ニ走レリ我ガ本營ハ「アルスレ」ノ西ニアル大「ケクマ」ニ移シテ現ニ「カルルカ城」ヲ圍メリ「イズマイルバシヤ」ハ兵ヲ引揚クルニヨリ「アルゲルソ」ノ兵之ヲ逐フ

石土軍ノ大敗ガ這回戰爭ノ全局面ニ關スベキハ事柄ヨリモ気合ニ於テ多シトス是迄土兵ガ給金モ無ク衣服モ薄ク甚シキハ三万ノ兵中ニ一人ノ軍醫モアラザル程事ハ亜細亜方面ノ土軍ニアル英國陸軍ノ軍ニ從テ錵ク奮戰セシハ報國ノ心ヲ以テ宿怨ノ敵ニ向フニ由ルト雖ニハ抑モ亦數月来頗ル勝ニ乘ゼシ朝氣アリシニ坐セリ然ルニ今此大敗ニ逢ヒ銳気頓ニ沮ミテ全軍暮気ヲ為スベキヲ以テ百般ノ苦情紛起スベキハ勢シド免ルベカラサル事タル可シ、若シ夫レ事柄上ヨリメ言フトキハ「カルス」城陷ル氏深ク全局面ニ消長ヲ為スベキ者ニアラズ假令「カルス」城陷ルトモ「バツム」「ツレビゾンド」「エルゼルム」等ノ要所ハ守ル能ハザルノ地理ニアラズ況ヤ這回戰爭ノ大局「バルカン」半島ノ勝敗ニ於テ決スベキ者タルヲヤ斯レバ現下英國一二新紙等今次ノ一戰ヲ以テ講和ノ期ト為サント欲スルガ如キハ可言而不可行ノ説ナリ

「プレウナ」方面

魯羅合同兵ハ各所ヨリ地道、銃濠、等ヲ堀テ次第ニ敵寨ニ近キ又ハ新タニ數ケ所ノ砲寨ヲ築ケリ從事タル未タ大擧メ接戰ヲ試ミス是レ偏ニ前日無法ノ接戰ニテ多ク兵ヲ亡シ懲リ正シキ攻城法ニ從フ者ナリ而メ有名ノ「ソトレベン」氏カ指揮ヲ為セリ去ル十九日「ローマニヤ」勢ハ僅ニ五千ノ兵ヲ以テ「グリウサツア」ノ敵寨ヲ襲ロタレ共只ニ敵寨ノ要瀛近迄ツクヲ得シノミニテ遂ニ逐戻サレタリ此役「ローマニヤ」勢ハ死傷殆ンド一千人ニ及ベリ

「ローマニヤ」勢ノ此擧アリシハ魯ノ本営ト軍議合ハズメ独意ニ出デシ者ナリトス又タ去ル十二日土将「サファケツトバシ」無難ニ「ブレウナ」ニ入レリ同日同氏ガ「ブレウナヨリ土京ヘノ電報ニ拠ルニ之ヲ以テ第三回ノ援兵ト称シ(拠ル所ノ新聞紙上ニ於テ而メ其添ニ其地位ヲ記載セリ)先便ニ見ル所ノ「ヲルハニヘ」ヨリ「ブレウナ」迄ノ間ハ敵ノ哨兵モ見ズト云ヘリ、サレハ此項迄ハ魯兵未タ「ブレウナ」ノ後面ヲ囲ムノ手立行届カサリシト復タ疑フベキナシ然ルニ其以後今日迄各新聞紙上ニ「ブレウナ」ヨリ土京ヘノ電報ヲ載スル者ナキヲ見レハ魯兵既ニ「リフニヤ」ト「ブレウナ」ノ通路ヲ断チ切レリトノ風説モ「ツルノマグレリ」ナル恐クハ真ナルモ知ルベカラス尤モ此種ノ風説ハ前日敵ノ援兵ガ未ダ「ブレウナ」ニ着セザリシ前ニモ行ハレシコトアリ石ノ如ク「ブレウナ」ニハ苟クモ両度ノ援兵悩カニ著セシニ関ラス土兵往々寨ヲ出テ魯軍ニ降ル者アリ降卒ノ供ニ拠レハ「ブレウナ」寨中ハ兵器食糧両ツナガラ乏シク兵氣大ニ沮喪セリトス尤モ降兵等ハ通例味方ヲ悪シク言ヒ做シテ已ク降参ノ措ト為スニヨリ其言固ヨリ深ク信ヲ措キ難シト雖モ現ニ降兵ノ日ニ多キハ諸新聞ニモ見ヘ亦「ブレウナ」魯営ニ在ル山澤中佐ヨリモ申越セリ、斯ル形勢タレハ魯兵ハ「ブレウナ」ノ四周ヲ囲ミ盡シ同所ヲ以テ第二ノ「セダン」タラシムルノ策ナルモ知ルベカラザルナリ

是ヨリ先キ魯兵ハ數ケ所ノ敵寨ヲ砲撃スレドモ敵ハ夜中ニ其寨壁ノ破損ヲ修復ノ翌日ハ故ノ如キニ由リ「トツト

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

レベン」氏ハ數ケ所ノ砲台ヨリ敵ノ一寨ヲ合撃スルヲ
差圖セリ此差圖ハ後日接戦ノ時ニ大助ヲ為スベシト云
ウ、數日前「ニコライ」親王ノ使者ト土将「スマンパシヤ」
両軍戦線ノ間ニ於テ應接アリタリ其後双方共ニ是迄擲
ケ置キシ兵卒ノ遺骸ヲ埋ムルコヲ得タリ

「ロム」並ニ「シプカ」方面

「スレイマンパシヤ」ノ戦畧ニ就テハ各種ノ臆説アリシク
今日迄ハ急ニ進撃ヲ試ムルノ色ナシ魯太子ノ兵モ亦然
リ双方共ニ専ラ冬陣ノ用意ニ従事セリ前日ヨリノ風雨
ニテ各所共ニ道路泥濘不可行ト説多シ「シプカ」峠モ折節
砲戦アリト雖モ記スルニ足ルベキ程ノコトナシ、同所ニヲ
ケル土軍ニハ野砲十五「バッテレイ」臼砲二「バッテレイ」アリ
ト云フ、「スレイマンパシヤ」ハ其兵三万ヲ「ドブヅア」方面ヘ
分派セシトノ説アレド確否ヲ知テズ

土ノ軍船再タビ魯ノ水雷ニテ破裂セシ事

十月九日「ガニエーブ」河口ノ「スリナ」口ニ於テ魯土ノ船戦
アリテ土ノ「コンボート」一艘魯ノ水雷線ニ觸レテ轉瞬間
ニ破裂シ乗組十七人（此人數ハ土京ヨリノ報ニ基ク）即死其他ハ蓋
洲中ニ吹飛サレテ助カリシ者モアリタリ其詳ハ下文交
戦日報十月十三日ノ條ニ載セリ魯國海軍一士官ノ話ニ
魯ノ火船六艘ト水雷並気小船六艘ハ「キリヤ」口（タニユーブ」
ノヨリ海ヲ下テ「スリナ」口ヨリ河口ノ三筋（河口ハ三筋アリ）
ヘ更ニ沈船（見ハ前月魯兵ガ「スリナ」河口ヲ塞ク為メ沈メ置キシ者ナリ）
ノ二線ヲ越ヘ「スリナ」ニ入ロヨリ二里ノ処迄至リ
テ新タニ水雷ヲ沈メ置キ両シテ翌日ノ戦ニ土ノ軍船ハ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

之ニ羅テ破裂セシナリト云フ（文戦日報ト参考スベシ）開戦以来魯ノ水雷ノ為ニ沈没セシ土艦ハ之ヲ以テ両度トス而メ魯水雷小船ガ土艦ト戦セシニ屢次ニメノ実ニ土ノ艦隊ヲ悩セリ水雷ノ効ヲ奏セシニ敵船ヲ悩マセシモ這般ノ戦ヲ以テ盛ンニ鬪ハントスベシ蓋シ向後ハ各國共ニ水雷小船隊ヲ組立テ以テ敵船ノ港湾及ヒ河口ニ襲ヒ来ル者ヲ妨ケ（但シ水雷線ヲ張置クハ言ヲ待タス）又ハ双方ノ船戦ニモ互ニ之ヲ以テ本船ヲ破ルノ資トナスベキヲ疑ナシ水雷小船隊ヲ用ユルハ猶銃撃隊（欧州ニハ別ニ銃撃隊又ハ抜刀隊ナル者無シ）ヲ以テ敵壘突入ルガ如ク瞬間ニメ僅カ数分ノ間ニ於テ盛ニ夫ノ「アセス、トルペード」ナル者ヲ製造スルヲ奏スベキヲ少カラサルベシ是迫魯ハ多ク「スパートルペード」（前使来号ニ記載セリ）ヲ用ユレ氏現ニ「コロンスタット」

見ル四五日前予同所ニ於テ其假試験ヲ目撃スルニ實ニ恐怖スベキ地獄器ナリ其速カ十六里ニメ一「カーブル」ノ距離迄ハ僅ニ達シ而メ器中ノ壓力ハ五十「アトモスフヒヤ（空気カ）タリト云フ魯ノ軍船中方今此仕掛ヲ船先キニ備フル為メ頻ニ下手スル者アリ水平線下ノ船先キヘ「アストルペード」ノ通ヲ丈ケノ筒ヲ備ヘ置キ筒中隔水舌ア（ケ）リ水雷ヲ放ツ時ハ之ヲ開キテ作ケ閉ケテ以テ第二ノ水雷ヲ放ツ時ハ再タ之ヲ開タ如是スル數次須臾ニメ若干ノ力ヲ用ヒテ之ヲ送ル「コロンスタット」水雷製造場ニテハ「アニストルペート」一個ニメ四百「ポンドスチールリング」ニメ出来エルト云ヘリ

雑報數則

先使ニ魯ハ壹百八十万「ルーブル」ヲ費ノ冬ニ耐ユル堅固ノ橋ヲ「ダニューブ」河「レストワ」ノ許ニ架スルノ命ヲ下セリトノ風説ヲ記セリ此議ニ就テハ両様ノ論アリテ未タ決セザル由即チ其一ハ肉径十四尺ノ鉄筒二個ツヽヲ並ヘテ河ニ浮ヘ錨ヲ投メ之ヲ撃キ更ニ流氷除ケヲ附シ而メ此鉄橋工ニ橋ヲ架セントスル者ナリ此入費ハ英貨二十万「ポンドステルリング」其一ハ小形兼気船数艘ヲ造リ以テ是迄ノ船橋ヲ塞カル時代用ヲ為スニアリトノ「ダニューブ」河幅「レストワ」ノ処ハ茅國紐育府「ハツスン」河ノ半ニ過キス又気候モ同府ニ比スレハ幾ナルヲ以テ氷雪モ少キニヨリ此見込モ行ハルベキ者ナリト云フ

按スルニ英領事館ノ届ニ拠ハ「ダニューブ」河ノ下部ハ三十七年間ノ冬ニ氷合セザリシテ僅ニ八次ニメ其餘ハ氷ノ厚サ中流ハ英十六寸両岸近邊ハ二十五寸タリシト云フ然レハ「レストワ」邊ノ様子未ダ新聞其外ニ記載セレ者ナシ

「ボルガリヤ」ニ於テ魯兵冬陣ノ為メ鉄製ノ假小屋十万ヲ美商ニ誂ヘ既ニ出来テ船積セントセレヨ英政府ニテ差止メリトテ魯國新聞紙等大ニ憤レリ英政府ガ土國ヘ輸スル軍器ヲ止メズメノ特ニ魯ノ註文物ヲ止ムルハ偏頗ノ所業タレハ奈何トモスルニ能ハズ「クルップ」ノ製砲所ニテハ現ニ魯政府ノ誂ヘニテ盛ニ大小砲ヲ造ルニ従事セリ其数巨砲百門野戦砲七百門ニメ来年四月迄ニ出来ル約條ナリト以上当時中仮ヨリノ報ト孫ル英国新聞ニハ千五十門ノ砲ヲ三ケ月間ニ造ルノ約ナリト見ヘタリ英米二國ノ商船米國ヨリ今ニ絶ヘズ武

器ヲ土國ヘ輸送セリ魯人ハ顕官等迄ヒ此武器ノ價ハ英政府ガ償フ者ナリト信シ居レリ

先年維納博覧會ノ建棟ハ中部ヲ殘レタル外皆取壊テタルヲ先頃魯政府ニテ買上ケタリ而之ヲ以テ「ボルカリヤ」並ニ「ローマニヤ」ニ假病院ヲ建ル為メ此木材ヲ雑納ヨリ「ダニユーブ」河ヲ下スキハ運賃ノ大ニ減スルヲ以テ魯政府ハ日耳曼政府ニ依頼シ其駐土大使ヲ以テ土政府ヘ「ゼ子ロ」十字約條ノ趣意ニ基キ此儀ヲ許諾セラレンヿヲ請ヘリ是レ「ダニユーブ」河筋ナル土領「アダカレ」ヨリ「グルゲヤ」迄ノ間ヲ通航セサルヲ得ザレハナリ土政府ハ以為ラク「ゼ子ロ」ノ約條ニハ一方ヨリノミ他ノ一方ニ對シ此種ノ事ヲ許諾スヘキ義務アルヿ無シモシ之ヲ許諾スルキハ其木材ハ假病院建築ノ外ニ魯兵安樂ノ冬陣ヲ為スタメ或ハ堅固ナル貯庫ヲ作ルノ用ニモ供シ得ベシトテ日大使ノ請ヲ許サス日大使ハ此拒絶詞ヲ得タレトモ未ダ絶念セスメ他ノ「ゼ子ロ」同約政府ノ手ヲ借リテ土政府ノ意ヲ轉セシメント配意セリ但シ石木材ハ「ガリシヤ」ヨリ鉄道ニテ「ローマニヤ」ニ送ルトキハ捷路ナレトモ費用甚タ大ナレハナリ

魯政府ハ又々一億万「ルーブル」ノ公債ヲ為スベシトノ風説專ラ當府ニ流行セリ同伴ニ付伯林府ニアル「タイムス」通信者ノ報ニ此ノ公債ハ九十五當百ニメ八「ベルセント」ト金銭(ゴールド)利子ヲ附スル者ナリト云ヘリ此通信者ノ報ハ常ニ誤リ多キヲ以テ信ヲ措クニ足ラスト雖モ公債發行ノ説アルハ真ナリ魯國新聞「ゴーロス」「イウオヱウレ」等ハ假令何程ノ高利タ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

リ氏公債ヲ為ス方遂ニ紙幣濫増スルヨリモ愈シリトテ極言セリ予折節紙幣製造所ヲ訪フニ相替ラス繁昌ナリ紙幣ハ頃者又々下落シ英貨一「ポントステルリング」ハ十一「ルーブル」十「コペーキ」トナレリ、ウラジホストクニテハ一墨是哥「ドルラル」ガ三「ルーブル」ニナレリト云フ此件ハ「タイム」ニ出ツ魯國官吏等ノ困部想フ可ク而シテ密ニ私ヲ行フノ基トナルヤ明ナリ現ニ當府製酱商ヨリ陸軍省ヘ納ムル酱ハ紙ヲ以テ酱裏ニ挟ミタル者比々是ナリ其人云ク此種ノ酱ハ五六「ウヨルスト」ヲ歩スレハ復用ユヘカラズト雖モ有司ヨリノ命ナルヲ如何セント、此種ノ悪風ハ強テ紙幣下落ノミニ関スルニアラス、二三ヶ月前ヨリメ或省ニテハ卿ヨリ十四等官吏ニ至ル迄軍費トメ其俸給百分ノ一ヲ毎月献金セ始メタリ但シ各省皆然ルニアラズ

外務省ノ如キハ未ダ一銭モ出タザス

「セルフヒヤ」二國ハ遠ニ兵ヲ擧クベキ色ナレ殊ニ「セルフヒヤ」ノ如キハ「プレウナ」ノ隔ルヲ聞クニアラザレハ兵ヲ放テ土領ニ入ラシメサルベキハ疑ナキト前使既ニ陳セシ如ク今猶依然トメ然リ土政府ヨリ「セルフヒヤ」ヘ手切掛合書ヲ出セレトハ全ク虚説ナリ土ノ外務卿「セルフヒヤ」ハ其駐英大使「ムスルバレヤ」ヲ以テ「ギリレヤ」政府ガ土ニ對メ敵對ノ事蹟アル五ヶ条ヲ英政府ヘ言ヒタリ英政府ハ「アテン」駐剳ノ英公使ヲ以テ「ギリレヤ」政府ヘ右ノ条ヲ難問セレニ「ギリレヤ」外務卿ハ一々之ガ辨解ヲ為シタリト雖モ何故土政府ガ其「ギリレヤ」駐剳ノ土公使ヲ以テ直ケニ「ギリレヤ」政府ニ言出ワズノ英政府ヘ依頼セシヤ甚ダ其意ヲ得ズト言張タリ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

「アフガニスタン」王「シルアリカン」ハ英政府ガ印度「ケラツ政府」ト「國ノ「ケタ」北ヘ兵ヲ駐メ置クヲ憤リテ頃日英ニ敵抗スルノ色ヲ見ハセリ魯國新聞ハ之ヲ聞テ大ニ悦ビ英領印度ニ於テ援ヲ起サレメ以テ英政府カ隙ニ土國ヲ助クルノ怨ニ酬ニンコヲ望メリ本日ノ「ロートロス」社説ニモ此言ヲ陳セリ

「ガスガル」國ノ近況並ニ支那境「クルゲヤ」地方ノ要報ヲ得タレハ其事甚タ入組ニ付便細記スル能ハサルヲ以テ之ヲ次便ニ譲ル

十年十月廿三日

榎本武揚

寺島外務卿殿

亜細亜方面

交戦日報

十月十日

「ゴルニスツデン」八日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ云ク「バレブゲツク」等ノ乱暴教害ヲ罰スル為メ去ル五日「オスマンバザル」街道ニアル「ゴヅリスベツク」ヘ分隊ヲ遣ハセレガ敵ハ不意ヲ襲ハレ大ニ人ヲ損メ敬乱シ又生捕ラレシ者モ多シ味方ハ卒二人死シ士官二人並ニ卒十人傷ツケリ

「カラヤル」八日参謀長ヨリノ公報ニ云ク大佐「テルアツサツロフ」ノ分隊ハ「ダケスタン」ノ一揆勢ニ向テ両度勝利ヲ得タリ去三日ニハ「ゲユミケント」ニ於テ四千人ノ一揆勢ヲ破リ五百五十人ヲ戦場ニ斃シ三百人ヲ生捕リ味方ハ傷士官二人卒十二人ノ外中尉一人卒三人行衛知レズ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

一日二日両日ノ戦ニ「ムクタルバシヤ」ノ兵ハ六千餘人ヲ損セリトノ説アリ

君士坦丁府八日「ヲルハニア」ヨリノ報ニ歩兵二十四大隊ハ糧食ヲ齎シテ「プレウナ」ニ進ミ全所ヲ囲メル魯勢ノ一方ヲ破テ「キレチケウルプ」ヘ達シ翼日「プレウナ」ヘ進入セリ「メクメツトアリバシヤ」ハ昨日「ワルナ」ヘ着セリ

雑納八日「ベルグラード」ヨリノ報ニ云ク昨七日「セルフヒヤ」ノ兵七「ヅリガード」ハ國境ヘ出陣セリ「ブカレスト」ノ報ニ近日ノ大風ニテ「ダニユーブ」ノ浪高ク「レストウ」「ニコポル」ノ渡難シ

同十一日

「ゴルニスツデン」九日「ニコラライ」親王ヨリノ公報ニ云ク昨七日「セルフヒヤ」ノ兵ハ之ヲ進撃シ「ハツガワリ」「スボタン」「キユルウエラン」ノ土塁ヲ奪取シ

雑納十日「ロシヤ」ト「セルフヒヤ」ノ談合ハ既ニ整ヒ「セルフヒヤ」ノ兵ノ開戦ハ十一月十五日迄延バセリ、土塁ハ「ラゲレチエフ」ヲ過ヨリ兵ヲ上陸セシメントセシタルドモ魯兵ノ襲ヒタレドモ我之ヲ逐卻シタリ翼八日ノ書「カヂキヨイ」ノ向ニアル我先鋒隊ニモ襲ヒタレドモ我預備番兵援トメ駈付ケ遂ニ敵ヲ逐卻セリ味方ハ傷四人アリシノミ「コンスタンス」並ニ「サゲナ」ノ土兵ハ引ヲ悉ク「カヂキヨイ」ニ集マレリ七日ノ夜敵ハ「ヒリスト」並ニ軍艦ヨリ我陣ヲ砲撃セリ

「カラヤル」九日参謀長ヨリノ公報ニ曰ク一日二日ノ戦後昨夜敵ハ「キジルタ」並ニ其附近ノ陣ヲ引拂ヒ「ニヨリ」我兵ハ之ヲ進撃シ「ハツガワリ」「スボタン」「キユルウエラン」ノ

「スボタン」ハ「タラムス」ニ「サルバタン」ニ作ル

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

為メニ大ニ兵ヲ損シテ引退ケリ英國ハ土耳其ト「キンテ
ッナグロ」ノ仲裁ニ立入ルベシトノ説アリ「デカレスト」ヨ
リノ報ニ「ニコポリ」ノ河下ニ架シタル橋ハ風浪ノ爲メニ
破毀セシト雖モ直ニ修復セリ「セケニア」ヨリノ報ニ「メ
クメットアリパシヤ」ハ「モンテネグロ」勢ハ「ヘルゼ
總督トナレリトノ聞アルニ由「モンテネグロ」勢ハ「ヘルゼ
コフィナ」ニ於テ乘取タル諸所ノ固メヲ益々嚴ニスト

同十二日

「ゴルニスツデン」十一日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ六ク
土勢ハ「シリストリヤ」近傍ニ架シタル始メタル橋ヲ毀テリ去
ル三日「ロフチヤ」ノ指揮長「ゼネラル」「ゲルツコフ」ハ大佐「ダ
テソフ」ニ哈薩克一隊ヲ托シテ自後トメ「イズウオル」ニ遣ハ
シ不意ニ襲撃テ凡ソ四百ノ敵ヲ追拂ヒ「イズウオル」ニ在
ル兵糧飼馬ノ貯ヘアルヲ焼キ捨テ「ミクル」地名ニ歸リ同
五日同氏ハ「トロフ」ヲ經テ再タビ「イズウオル」ヲ襲ヒ彼地
ニアル土勢ヲ追拂ヒ翌七日「ガテト」村ヲ囲ミ仝村ニアル
「ゴレブデック」三百餘人ヲ打散シテ之ヲ「テンベン」府迫迫
撃セシニ「テンベン」峠ニハ三百ノ「ケヤルケス」人小砲三門
ヲ擁ヘ守リ居ルニヨリ「タテソフ」ハ「ソボート」ニ於テ夜ヲ
明カシ翌日「ミクル」ニ引揚ケタリ去八日土勢ハイマヽ
ナノ「畑ヵりニアル胸壁中ニ在ル番兵ヲ交代セントスル
ヲ見「ローコニヤ」勢ハ之ヲ砲撃セシニ土兵援兵ヲ得テ「ロ
ーマニヤ」勢ノ胸壁ヲ襲ヒ掛リタレ氏只大ニ兵ヲ損セシ
ノミニテ引揚ケリ一昨九日「スリナロ」ニ於テ土ノ三本檣
ノ甲鉄艦ハ我水雷ノ爲メニ破裂メ空中ニ飛ベリ
「ヲデツサ」十一日ノ報ニ「スリナ」迫傍ニハ土ノ甲鉄艦四

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

被ァリ昨十日我蒸気小鉛（スクテ）ハ「ヤルケール」ヲ以テ敵船ヲ砲撃セリ

龍動十一日「ダイレニユーズ」新聞ニ「カラヤル」十日ノ報ヲ記シテ云ク天氣甚タ悪シキニヨリ魯勢ハ故ノ地位ニ兵ヲ引揚ケ戰ヒ皆テク止メリト

雜納十一日「プレス」新聞ニ「ガラッツ」十日付ノ報ヲ記シテ曰ク昨日「スリナ」ニ於テ數時間戰ノ後土ノ蒸気船空中ニ破裂セリ

同十三日

君士坦丁府十一日ノ報ニ云ク「プレヴナ」ヘ兵糧運送ハ近日ノ降雨ニテ道路甚タ難渋ナリ、「ムクタルパシヤ」ヨリノ届ニ昨九日魯ノ大勢ハ大砲六十八門ヲ引テ攻来リ終日合戰夜ニ入テ止ム魯ノ死傷ハ一千人ニ下テガルベシ

「ヲルハニエ」ヨリノ報ニ「プレヴナ」ニ赴ク運送隊ハ「テデドリエ」ニ於テ「プレヴナ」ヨリノ出迎兵ト合シ而メ「プレヴナ」ニ入レリ「プレヴナ」ト「ヲルハニエ」ノ街道ハ全ク危キヲ以テ「セワットパシヤ」ト對談アリシ今日「オスマンパシヤ」ハ「ヴィンスミラン」ニ對シ「セルフヒヤ」國ノ戰爭支度ヲ速ニ止ムベシト要セリ「プリンス」ミラン」ハ左ノ答ヲナス積ナリ即チ「セルフヒヤ」國ガ戰爭支度ヲナスハ土兵ノ國境數多集リ來ルヲ以テナリト「ベルグラード」十一日ノ報ニ土政府ハ「セルフヒヤ」政府ニ對シ「ベルグラード」ニ在ル魯國領事ヲ退ケシメ並ニ領事館ニ揚ケタル魯旗ヲ卸サシメ而シテ「セルフヒヤ」ノ兵ヲ解散スベシトノ手切掛合ヲ出スストノ説アリ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

大将「セメカ」ヨリ「コンスタンケン」親王ヘ十四日付ノ公報
ニ云ク我海軍ガ新タニ功ヲ奏セレ件ヲ謹テ親王殿下ニ
報呈ス少佐「ゲコフ」ハ中将「ウエレヲフキン」ノ部下ニアル
軍船六艘並ニ水雷蒸氣小船六艘ヘ「ドロゴブジスク」隊半
部ヲ載セ其半ハ「レケ」島ヘ残シ置キ去ル八日「スリナ」ヨリ十
二「マイル」ノ距離ニアル水雷線ニ近ツキ同夜中猶水雷小
船ハ港ヨリ二「マイル」内ノ距離ニ至リ港抗ヨリ三百「サー
ゼン」ノ距離ニ更ニ水雷線ヲ張リ得タリ此時敵ハ小銃ヲ
トテルヨー」ヲ頻リニ発シ只一組ノ筏綱ヲ打切
テレシノミニシテ我兵死傷ナレ同夜中海岸ノ我砲臺ヨ
リモ敵ト砲丸ヲ交ヘ大ニ功ヲ奏セリ同九日朝我艦ハ戦
列ニ備ヘ置キタルニ土ノ流船「カルタル」号ハ我小艦並ニ
工陸ノ兵ニ向テ砲撃ヲ始メタリ我狙撃隊ハ海岸ヨリ發

弾ノ艦中ノ敵兵ヲ數多斃シ且ツ小船ニテ工陸セントセ
シ敵兵ヲ盛ニシ敵ノ小船ハ之ヲ御スル者ナキヲ以テ漂
テ河下ヘ流レ行ケリ「カルタル」踊ハ我蒸氣「スクーテル」船
「ウオロレ」ヨリ二發ノ砲撃ニテ先進スル能ハザリシ此時
土ノ三本檣ノ汽船ハ「カルタル」号ヲ助ケン為メ進来リレ
ニ夜中我ガ張リ置キタル水雷ニ觸レ破裂シテ海底ニ沈
メリ我艦隊ハ朝九時ニ至テ漸ヨリ三里ノ距離ニ退テ猶
戦列ニ備ヘ「モルケール」ヲ發散メ午后一時迄敵艦ト戦ヒ
タレドモ大霧ノ起ルニ會シ勝敗ナクメ互ニ砲發ヲ止メリ
破裂マレ敵船ノ旗ハ少佐「サケン」大尉「ラリドリツク」ガ「デマリン」号ニテ「スリナ」ニハ小船数多ノ
外敵ノ甲鉄艦四艘アリ同十日朝我艦隊ハ昨日ノ場所ニ
甲鉄艦ノ目前ニ之ヲ抜キ取レリ「スリナ」ニハ小船数多ノ
外敵ノ甲鉄艦四艘アリ同十日朝我艦隊ハ昨日ノ場所ニ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

再タビ戰列ニ備ヘ敵船ト交砲セリ我兵死二人傷死四人アリ

「ゲ子ラールアルカス」ヨリ「コンスタンケン」親王ヘ十一日付ノ公報ニ云ク去ル九日ノ夜少佐「ゲコフ」ハ小船ヨリ組立タル艦隊ヲ率テ「ズリナ」ヨリ十二「マイル」ノ距離ニ近キ大尉「クルグスコフ」「フリデリクス」「ロゲンスキ」「スクリヤギン」「下等」「チデツキ」「ガルデマリン」「ダラフストロゴノフ」等ヲ水雷ヲ沈メン為メ遣ハセレニ敵ハ我ガ小船ヲ見掛テ船並ニ壘場ヨリ砲發セタレ氏我兵之ヲ顧ミズメ充分ニ都合好ク水雷ヲ沈メ得タリ翌朝五時水雷ヲ沈メ終リタル報ヲ得テ「ゲコフ」ハ「ヲーブイト」号船ヲ先ニ立テ「スクーブ子」ハ「オロナ」号船ヲ率テ「ズリナ」ヘ向テ進ミ全ク「ヨリ六里ノ距離ニ近ッキタルトキ「スリナ」港ヨリ「カルタ

「」号艦並ニ木製ノ大船進ミ出タリ此トキ「ウオロナ」号ニ乗組ノ歩兵一小隊ハ「ヲーブイト」船ニ載セテ上陸セシメ「ゲコフ」自ラ敵船ニ向ヘリ敵ノ「カルタル」号ハ水食僅ヶニ三尺ノ船ナレバ水雷線ヲ無難ニ越ヘタレバ「ウオロナ」号ヨリノ砲撃ニヨッテ我ニ進ミニ近ックヲ得ザリシガ大蒸氣船ノ我船ニ近寄リ砲火ヲ開キタレバ轟ク昨夜沈メ置キタル水雷ニ乗当テ破裂メ水底ニ沈メリ此船ニ乗組レ着ノ幾分ヵ蓋洲中ニ助カリレト思ハルル之ヲ見テ「クルタル」号ハ大ニ驚キ速カニ「スリナ」港ニ引退キタリ、猶「ゲコフ」ヨリノ報ニハ翌朝十時比「ウオロナ」号ノ發砲ノ為メニ敵ノ甲鉄鉛蒸気釜ヲ破ラレ大ニ損害ヲ被リト見受ケタリ

同十四日

「ゴルニスツデン」十二日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ曰ク
寒冷日ニ増シ天氣甚タ悪シ昨日「ルスチュツク」方面ニア
ル我分隊ハ「ラバオ」村ヲ衆取リタリ其他新事ナク諸方穏
カナリ
「ガレスト」十二日ノ報ニ「マゲヤル」ノ徒黨等ハ「ローマニ
ヤ」地方ニ入リ「ヘロリスカ」河ヲ上リテ「グラブレウ」村迫来
リシニ付其地方ヲ守ル「ロートマニヤノ「ゼ子ラル」「カテレビ
エ」ハ新募兵ヲ率ヒテ彼ノ一揆勢ヲ打破レリ、降兩絶ヘズ
メ「ツルンモグレ」リヨリ架シタル橋ヲ修復スルヲ得ズ
始終渡船ヲ以テ渡河セリ
維納十三日「シユムラ」ヨリノ報ニ云ク「コノントウテゲス
テ」人ハ「ボーランド」ノ「ギヨン」ヲ助ケン為メ四「ミルリ
ヨン」ヲ擁テ君士坦丁府ヘ着セリ「メクメットアリ

バシヤ」ハ「セルフヒヤ」攻撃兵ノ総督ニ任セラルベシトノ
説アリ
君士坦丁府十二日ノ報ニ「メクメットアリバシヤ」並ニ「エ
ーブベシヤ」ハ君士坦丁府ニ着シ軍議ニ加ハレリ
「ブカベスト」十二日ノ報ニ「ホンガリヤノ一揆勢等「ロー
マニヤ」地方ヤ侵入セントノ説アレドモ甚タ疑ハシト
同十五日
「ゴルニスツデン」十三日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ云ク
諸方穏カニノ新事ナシ
「ブカレスト」十三日ノ報ニ「ダニューブノ「ペトロシヤニ」ヘ
掛ケ始メタル橋ノ築造ハ甚タ捗レリ「ローマニヤ」ノ「ゼ子
ラルカテレビエ」ハ「ホンガリヤ」ノ賊徒等ガ「ローマニヤ」領
内ヘ侵入セシヲ打御ケ充分防禦ノ手立ヲナシテ今ハ全

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

前條ノ公報

「アルセルム」ハ「カルス」ノ誤レリ

ク穏カトナレリ

「カテヤル」十三日ノ報ニ我兵ノ一部ハ土勢「エルゼム」府ヘ引揚ケベキ道筋ニ在リ、今日敵兵「ヤガ」ニ山ヲ夜カント攻メ来レル數多ノ兵ヲ損シ且ツ小銃弾藥等ヲ戰場ニ棄テ敗走セリ生擒中ニ士官三人アリ我死傷少ナシ」

「ケンメルマレ」ノ部兵ハ進撃ヲ始メタルニヨリ「ズレイマンバシヤ」ハ「ドブルゲヤ」ヘ三萬ノ兵ヲ遣ハセリ

同十六日

「カテヤル」十四日付參謀長ヨリノ公報ニ云ク「ムクタルバシヤ」ノ右翼並ニ中軍ハ去ル日豫レノ如ク「ツゲヤ」ノ北端並ニ小「ヤガ」ニ引揚クルヲ見我兵ハ之ヲ追躡シ去十一日「スボタン」並ニ「ハッゲワリ」村ノ向ヘニ「アル」「キジルタブ」並ニ大「ヤガ」ニ山ニ陣ヲ布ケリ昨十三日未明ヨリ土兵十一大隊小「ヤガ」並ニ「ウイゲンキヨイ」山ヲ三リ下リ来テ大「ヤガ」ニ山ニテ我兵ヲ襲ヒ劇シク砲撃數度攻撃シタレバ大「ヤガ」ニヲ守ル歩兵一大隊ト「ケフリス」並ニ「シングレルスク」両聯隊中ヨリ援兵トノ差セ来リシ三大隊ニテ悉ク敵ヲ追部ケリ士官三人ヲ生擒シ敵ハ壱百餘ノ死骸ヲ戰場ニ棄テ去レリ我兵ノ死傷茶セテ壱百人ニ過キズ

「ブカレスト」十四日ノ報ニ「ホンガリヤ」ノ賊徒等ハ「ウルッ」「ブラホ」ヲ経テ「ロートマニヤ」領内ニ侵入セタレバ「ロートマニヤ」ノ自投兵ヲ以テ県等ヲ國境ヨリ追部ケリ「ブレス」新聞ニ「ホテゲム」ヨリノ電報ヲ記メ云ク「ブレウナ」府ヨリ脱走セル土耳格人ノ咄ニ拠レバ土軍兵糧弾藥衣服等ニ乏シク士官等ハ頻リニ魯軍ニ降ルヲ冀望スル

氏「オスマンパレヤ」獨リ之ヲ欲ヒズト

「カラ、シ」十三日ノ報ニ云ク昨夜土勢ハ暗夜ニ乗ジ小船ニ二十艘ニ打乗リ「ダニユーブ」ヲ越ヘテ「ロー、マニヤ」領ニ上陸セントシタレ氏胸壁中ニ伏セ居リシ一千餘ノ魯兵ニ銃射セラレ土勢ハ五十餘人ヲ損ノ引退ケリ此時魯兵ノ死傷並セテ三人ナリ

同十七日

「ミハイル」親王ヨリ魯帝ヘ十五日付ケノ電報ニ云ク予我兵ノ大捷ヲ陛下ニ祝セントスルムクタルパレヤ」ノ兵ハ大敗ヲ我兵ノ為メニ「カルス」ノ通路ヲ断クレタリ生擒人数並ニ分捕セル大砲ノ数等ハ未タ之ヲ数フルニ暇アラズ此戦我兵ハ美事ニ奮戦セリ我兵ノ死傷並ニ分捕品ノ細報追テ奉呈ネバル

同十六日午後一時発ノ公報ニ云ク十四十五両日ノ戦ハ左ノ如シ「ロ子ラルザレ」ノ部兵ハ十四日「ラルロク」高地ヲ乗取リレ後敵兵ヲ「カルス」並ニ「ウイケンケ」ニ追払ヒ而メ此一挙ニ由テ敵ノ一部兵ハ既ニ我兵ニ取巻カレリルヲ以テ翌十五日ヲ以テ「ムクタルパシヤ」ノ陣ヲ総攻メスルヿニ決セリ「ムクタルパレヤ」ノ中軍ノ枢要所タル着ハ即チ「アフリアル」山ノ岡メヨリ攻撃前我兵劇レク全山ノ岡メヨ砲撃シ朝六時ニ至テ総攻撃ニ打掛レリ「ゼ子テールヘイマン」ハ「エリヤン」「グルゲン」「ビヤケゴルスク」ノ三聯隊ト別ニ狙撃一大隊ヲ率ヒテ「アフリアフリアル」山ノ岡メニ迫リ義事ニ之ヲ乗取レリ我兵右ノ地位ヲ占メタルヲ以テ「ムクタルパレヤ」ノ兵ハ互ニ声援ヲ通スルヲ得ザルヿトナレリ而シテ「カルス」城ヲ指メ引退ク敵ノ一

「ウサゲンケ」ハ「ニウサゲンキヨ」ニ作ル

部兵ハ當ニ「ゼ子ラルヘイマン」ノ兵ニ追躡セラル、而已ナラズ更ニ側面ヨリハ「ゼ子ールラザレ」ノ兵ニ横撃ヒラレテ午后五時ニハ全ク敗績シ許多ノ死骸並ニ大砲四門ヲ戰場ニ棄テ且ツ數千ノ兵ヲ生擒ラレテ散々ニ逐散サレタリ同時ニ右翼ニアリシ三「ゲヲニレヨン」ノ士兵ハ「アラノゲヤ」ノ固メヨリ逐拂ハレタル後四方ヨリ我兵ニ取巻カレテ大ニ兵ヲ損シ而タ午后八時ニ至テ終ニ我ニ降參セリ生擒人數中ニ「バレヤ」七名ヨリ分捕品ハ大砲三十二門其他武器彈藥頗ル多シ「ムクタルバレヤ」ハ「カルスヘ」ヘ敗走セリ我死傷ハ敵ニ比スレバ甚タ少ナシ

「ゴルニスツデン」十五日「ニコラ」ノ「ナノ」傍ニアル「モ」ニ村ヲ襲ヘリ依之テ「セノスク」聯隊一昨十三日一千餘ノ歩騎「バレブジョック」等山ヲ下ツテ「ヨ

中ヨリ四小隊「ヲルデンスク」ノ「ダラゲン」隊ノ騎兵二隊ハ迎撃メ大ニ之ヲ破レリ敵ハ數多ノ死骸ヲ戰場ニ遺シテ敗走セリ我兵ハ「セノスク」聯隊ノ四小隊ニ四人ノ怪我アリシノミ、敵ハ「ルスケエロリ」方面ニアル太子ノ兵ノ向ニ頻ニ兵ヲ集ム其外新事ナレドモ「ブレウナ」ニアル士兵ハ群ヲ離納十六日戰場ヨリノ報ニ「ブレウナ」ニアル士兵ハ「バザルゲツク」ニアル士兵ナレテ城ヲ出テ魯兵ニ降ルトノ「ガラヤル」十五日付ノ私報ニ云ク「ムクタルバシヤ」ノ兵ハ大敗レテ我兵ハ二萬ノ敵兵ヲ生擒レリ

君士坦丁府十六日ノ報ニ六ク「メクメットアリバレヤ」ハ「モンテ子グロ」ト和ヲ取結ブベキ任ヲ受ケタリトノ説アリ土政府ハ「ヘルゼゴフヒナ」地方ニ於テ「モンテ子グロ」ガ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

兵力ヲ以テ占拠セシ地ヲ悉ク「エンテ子ガロ」ヘ譲与スル見込ナリ又土政府ハ和睦判談ノ為メ「モンテ子ガロ」ト休戦ヲ取結ヒ「ヘルゼゴフヒナ」並ニ「アルバニヤ」ニ在ル土兵ヲ悉ク「セルフヒヤ」境ヘ送ル見込ナリト云フ「モンテ子グロ」ハ「レプツ」並ニ「ボドゴリツク」ヲ攻撃ノ用意ヲ為セトノ説アリ

「ナロヅチヤ、ポモレナ」新聞ニ云ク十月四日ヨリ同十二日迄欧亜両方面ニ於テ死傷病ニテ兵列ヲ出テシ者六千五百九十四人ニ及ベリ又開戦以来死傷病ニ罹リシ者ハ五萬九千四百三十四人ナリト

同十八日

「コルニスツデン」十六日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ云ク昨十五日欧ノ歩兵ハ我陣ノ様子ヲ探候セン為メ「ヨロン

ケツトリツク」ノ退ヨリ「ロム」河ヲ渡来タレニ我先鋒隊ニ支ヘラレテ進ムヲ得ザル折「ゼ子ラルコルチ」ハ歩砲騎三兵ヲ以テ之ヲ迎撃セントテ進ミシニ土兵ハ此時既ニ引退ケリ其他新事ナシ

羅納十六日「プレス」新聞ニ「レユムラ」ヨリハ之ニ答砲スル能ハズ又港還ヲ地ニ在ル土ノ墓場ヨリハ之ニ答砲スルニ及ハズ港還ヲ住民ハ既ニ其前ニ逃去リタレバ府内ハ此砲撃ノ為メニ大ニ害ヲ受ケリ陸ヲ遁走セル土ノ艦隊ハ此砲戦ニ加ハラズ全ク破壊沈没セリ「カニーボート」ハ魯ノ水雷ニ觸レテ忽チ沈没シ十六日ノ報ニ土勢ハ「プレカナ」ノ「オスマン」墓場ヨリ大砲ヲ引揚ニ「ロ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

マニヤ」勢ヲ此台場ニ拘引スルノ色アルニヨリ同臺場中ニハ地雷火ノ設ケアルベシト懸念ヒリ

「チフリス」十六日ノ報ニ六ク「ロリス メリコフ」ハ「ムクタル パシヤ」ノ兵ト「カルス」城ノ通路ヲ斷ケ而ヲ「エルゼルム」道ヘ囲メヲ設ケシトキ土勢ハ前以南ヨリ「ウイゲンキヨリ」ヘ進出タル「ゼネラルラザレフ」ノ兵ニ打掛リタレバ同氏ノ兵甚タ堅キニヨリ大砲其他ノ重器ヲ打棄テ「アラツガヤ」山ヲ踰テ「カギスマン」ヘ退去セリ「カギスマン」ト「エルゼルム」ノ通路ハ甚タ難渋ナリ

同十九日

「ゴルニスゾデン」十七日「ニコテイ」親王ヨリノ公報ニ云ク

「コフケヤ」地方ニ於テ二回勝利ヲ得タリ大佐「アントノフ」ハ去ル十一日第三十番ノ哈薩克隊一隊ヲ率ヒテ「モンヘン」ヲ知得家畜馬等ヲ奪テタヲ「ヤン」ヘ引揚ケタリ同日大佐「タラウフ」ハ第十四番聯隊ノ哈薩克三小隊ヲ率ヒテ或ハ徒ニテ「ウイド」河ヲ渡リ「トロス」村ヲ襲ヒ而メ大ニ敵ノ三百ノ敵ガ村裡ノ家屋中ニ隠レタルヲ逐出メ之ヲ林ヘ邨ケ八十餘ノ敵兵ヲ斃シ且ツ分隊長一人並ニ卒十一人ヲ生捕シ又敵ノ家畜ヲ悉ク分捕リ而ノ食物ヲ喫ヘ尽ク閉ケ込メ置キシ婦女童兒等ヲ助ケテ翌日「ミク」ヘ引揚ケタリ其他諸方穏カナリ」

「カテヤル」十六日付ノ私報ニ云ク我兵ハ「アリアル」並ニ「アラツゲヤ」ヲ攻メ「ゼネラルラザレフ」ハ「ウイゲンケア」ヲ取囲ミ而シテ大捷ヲ制セリ生擒セシ「パシヤ」七人歩兵二十

六大隊ニ〆分捕品ハ大砲若干隊旗二個ナリ、ムクタルハシヤ」ハ辛フ〆逃去セリ我死傷大凡一千人ナリ

雒納十七日「プレス」新聞ニ「ケフリ云ク「ムクタルハレヤ」ノ部兵十生捕ニ就キレ若ハ歩兵三十二大隊大砲隊四「ガリガード」ハ「ムクタルハレヤ」七人工等士官一百人ナリ、暴日「カフカス」ノ住民ヲ駈援セレメレ「レヤミル」ノ子「カゲマオム」ハ此戦ニ討死セリ土兵ノ死傷凡ソ壱萬六千人ナリ

「ツルスマグレリ」十七日付ノ私報ニ云ク昨日ヨリ「プレヴナ」ヲ攻メ其後「プラニク」ニアル「ソフヒヤ」ト「プレウナ」ノ通路ヲ断チ切レリ

君士坦丁府十八日「ムクタルハレヤ」ヨリ「カルス」十五日付ノ電報ニ今朝我兵「カルス」ヨリ出陣ノ用意ヲ整フル際敵ハ「ハッゲロリ」ヨリ襲来テ我ガ歩兵四大隊大砲三門ヲ以テ守リ居リタル「アフリアル」ヲ攻メ其後「プラニク」ニアル我中軍ニ攻メ掛レリ両側面ヨリ頻リニ中軍ヲ援ケタレ共四時間血戦ノ後遂ニ敵ノ大砲ノ為メ中軍ヲ引揚ケザルヲ得ザリシ鬱勢ハ「アフリアル」ヲ棄取リ而メ漸クカル」ニ向テ行ケト、諸所要害ノ地ヲ棄取ルニ由リ速ニ一「ゲフヒレヨン」ハ「カルス」ヘ遣ハセリ他ノ一「チフヒレヨン」ハ大砲二百門ヲ附メ「カテダク」ヘ遣レ置ケリ、昨日ノ戦我兵死傷上等士官数名並ニ卒八百人ナリ」ウヲバレヤ」ヨリ「メートル」計積リ大ニ用ノ電報ニ「レブカ」峠ニハ降雪阮ニ一「メートル」計積リ大ニ用兵ノ妨碍ヲ為ス

雒納十八日「タリブラット」新聞ニ「チナリス」十六日ノ報ヲ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

記タ云ク亜細亜方面ノ魯勢ハ數多ノ援兵ヲ得七万ノ兵ヲ以テ「ムクタルバレヤ」ノ帥エルバレヤ三万ノ兵ニ当リ大捷ヲ制セリ「ケフリ」ニ来リシ生擒人數ハ今日迄ニ既ニ四千人ノ多ニ至レリ

「イゲルム」十七日ノ報ニ「イスマイルバレヤ」ハ「ムクタルバレヤ」ノ大敗ヲ聞キ陣ヲ「ゾルタ」ニ移シ現ニ魯境内ヨリ引揚ケ心ノ色アリ

雑納十八日ノ報ニ當府ノ諸新聞ニ云ク「カルス」並ニ「エルゼルム」ニハ兵糧武器ノ備甚タ不充分ナルヲ以テ魯兵速ニ之ニ下手セバ之ヲ救ク難カラザルベシ

同廿日

「ゴルニスツテ」十八日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ云ク「プレウナ」方面ニ於テ我ガ攻城ノ業甚タ捗レリ我砲台ヨリ時々敵ノ囲タル一ケ所ヲ覗テ砲撃スト雖モ是レハ大ニ敵ニ害スト見ヘタリ其他新事ナシ

「カラヤル」十八日付ノ私報ニ「タルバシヤ」ノ部兵ハ既ニ無キ者ト看做シテ可ナリ敵ハ死傷ヲ除キ我兵ニ生擒セラレシ者而已ニテ歩兵二十二大隊砲兵共ニ大砲十七門ニテ分捕品ハ弾薬武器數多アリ

雑納十九日「タクデラット」新聞ニ「レユムラ」十七日付ノ電報ヲ載セテ云ク一昨日「スレイマンバレヤ」ハ自ラ分隊ヲ率ヒテ「ヨロンケフトリック」ノ邊ヲ作猴ト両メ「ロム」左岸ノ高地ニ魯勢ノ陣セルヲ発見シ又同氏昨日ノ作猴ニテハ魯ノ大勢「クラスナ」ヨリ西「ルスケエツク」ノ方ヘ進軍スルヲ認メリ「スレイマンバレヤ」ハ此進軍ノ後軍ト出會シ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

暫時ノ小迫合アリタリ「ポリケスエルレスポンテンツ」新聞ニ君士坦丁府ヨリノ報ヲ記メ云ク「マクムードダマツト」ハ頃日又宮中ノ寵愛ヲ辱フシ頻リニ「アドヘムバレヤ」ト擢盛ヲ競ヒ始メタリ「エドヘムバレヤ」ハ多分黙ケテルベレトノ説アリト

同九一日

雒納廿日ノ報ニ土勢ハ「グリウイッア」方面「ブレウナ」ノ第二ノ塹塁ヲ引揚ケタリトノ説アレド同塁場中ニハ地雷火ノ設ケアルノ畏アリ「フナトリヤ」並ニ「タソボタミヤ」ニ在ル五兵ハ尚残「ガルス」ヘ出張スベキ命ヲ受ケリ土勢ハ現下「ブレウナ」方面「モンテ子グロ」ガ占拠セル「ニクシ」ヲ再タビ取戻サントテ盛ニ之ガ用意ヲナス英政府ハ現下頻リニ休戦ノ事ヲ主張シ「ロルドデルビー」ハ既ニ同件ニ付各國大使等ト談

判ニ及ベリ「アレス」新聞ニ「ケフリスタ」十八日付ノ電報ヲ記メタル曇勢ハ「アレキサンドロボル」ヨリ攻城砲ヲ「カルス」方面ヘ送リ「ゼ子テルラザレフ」「アテッケヤ」山ヲ踰テ土ノ石壕ヲ追々「カルス」「エルゼルム」街道ヲ指ノ進ム「イガマイルバレヤ」ハ其先陣ヲ「カラウンサラ」ニヨリ「ゼ子テルテルゲカリフ」ハ右ノ土勢ヲ土領ニ於テ迫撃ス

君士坦丁府十九日付「ハロスアデント」ノ報ニ曇勢ハ既ニ過半「カルス」城ヲ取圍ミ頻ニ之ヲ砲撃ス「カルス」ヨリ「エルゼルム」ヘ電信ヲ通報スル能ハス「ムクタルパレヤ」ハ「カルスト」「サガンルク」ノ間ニアル「キザルデレ」ニ在リト云フ説アリ「カラゲヤダグ」ニ残リ居リシ土ノ一「ゲフニレヨン」ハ

懇テ降参セリ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

「ベルグラード」廿日ノ報ニ云ク土勢ハ大ニ「ケモッ」河ヲ
進メリ

同二十二日

「ゴルニスツデン」廿日「ニコライ」親王ヨリノ公報ニ云ク昨
日「ローマニヤ」勢ハ「プレウナ」方面ニアル敵ノ一砲台ヲ奪
取リタレ共同日夕ニ至テ再タビ敵ニ取戻サレタリ去十
七日「ケヲルノウオダ」「レリストリヤ」街道ニアル「セイリク」
村ノ邊ニテ「カザック」兵ハ敵兵百五十人ニテ護シ得タル
一百ノ輜重車ヲ分捕シリ護兵ノ中廿六人ハ斃シ三十二
人ハ生擒シリ翌日同所ニ於テ敵ノ騎兵二大隊ヲ追拂ヒ
七人ヲ殺シ二人ヲ生捕シリ
「ガラヤル」廿一日参謀長ヨリノ公報ニ云ク去十五日「アラ
ツケヤ」高地ノ戦ニ我士官死七人傷四十九人卒死

「バルカン」ハ魯領ナリ

戦百戦拾三人傷千百六十二人ナリ同日ノ戦後我中軍ハ
「ウイケンキヨイ」並ニ「ヲルロフ」「高地位ヲ据ヘ半バハ「ヨテ
ケカルス」「サリカミシ」並ニ「マツリ」地方ヘ進出タリ「イズマ
イルバシヤ」ノ兵ハ去ル十四日歩兵二十七大隊ヲ以テ「ハ
ルハム」ニ在ル「ゼ子ラルテルゲカソフ」ノ兵ヲ襲ヒタレ共
我兵迎ヘ撃テ敵ノ胸壁迫逐部ケリ同十六日ノ夜「イスマ
イルバシヤ」ハ山麓ニアル陣ヲ引拂メレニヨリ「テルゲカ
リフ」ハ之ヲ追テ今十八日「ザルツ」ノ高地ヲ乗取レリ大佐
「ベリン」ノ率ユル「カザック」隊ハ去十七日「ザルツ」村辺ニテ
敵ノ分隊ト戦ヒ士官二十三人卒二百人ヲ生擒リ山砲三
挺ヲ分捕リ十四日ノ戦我ニ損ハ傷卒二十四人ニ過キス
南「ダゲスタン」ニ於テハ十五十六日ノ両日異事ナシ中「ダゲスタン」ニ於
テハ十五十六日ノ両日「ダゲスタン」ニ於テ「村ノ邊ニテ一揆勃ト両度

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1

ノ戦アリ大佐「ナカレゼ」ノ率ユル「カザック」隊ハ一揆勢三百人ヲ殺シ多クノ品物ヲ分捕レリ我死傷并セテ二十四人

「カラヤル」十七日付ノ私報ニ曰ク我ニ降リタル者ハ土ノ「ゲフェレヨレ」ノ将二人「ゴリガード」ノ将五人佐官三十人士官二百十一人歩兵二十大隊騎兵軽隊ナリ「ムクタルバシャヤ」ハ傷ヲ被リ「カルス」ヘ逋レ去レリ分捕ハ大砲三十六門ノ外弾薬銃器多シ

維納廿一日「タクブラット新聞」ニ「チフリス」ヨリノ報ヲ記ス「ケンゲルヤ山」ノ戦ニ魯勢ハ「ムクタルバシャヤ」ノ天幕ヲ取リシ此天幕中ニアリシ多クノ書類ニ拠レバ「ムクタルバシャヤ」ノ兵ハ多クハ英将ノ指揮ヲ受ケ又英ノ金ヲ以テ其會計ヲ為シタルモノ判然タリ「ガレ」新聞ニ曰ク大本営ヨリノ報ニ「スレイマンパシャ」ノ兵ヲ頻リニ「ラズグラツト」ヘ寄セ集ムルハ「ゼ子ラル子チシメルマン」ノ兵「レリス トリヤ」ヘ向テ進ミ近ツクニ由テナリ「ボラチレヨリノ報ニ「ブレウナ」「ヲルハニエ」ノ通路漸ク西ニアル砲台一ケ所ヲ乗取レリ土勢ハ「ブレウナ」ノ東ニアル砲台ニハ地雷ヲ埋メアラン子ノ畏アリ「ゼ子ラルデッキ」ヨリノ報ニ土兵ハソフロヤ」並ニ「ブレウナ」ヘ多クノ向ニテ出張レ「レブカ」峠ニハ敵兵甚タ少ナレ「チアリス」ヨリノ報ニ「ムクタルバシャ」ハ「カルス」ニ僅カノ守兵ヲ残シテ「エルゼルム」ヘ引揚ケ始メ魯ハ頻ニ之ヲ追フ

君士坦丁府五日「ラスマンバシャ」ヨリハ公報ニ曰ク昨夜魯勢ハ我右翼ヲ襲ニタレ共大ニ兵ヲ損メ退ケリ「バルカ

ン」方面ニ於テハ天氣直リシ由ナレバ「スレイマンパシヤ」ヨリモ「レヲパシヤ」ヨリモ何タル報知ナシ同廿一日ハロスアゲントノ報ニ「スレイマンパシヤ」ハ兵ヲ「テグテット」ニ集メテ冬籠ノ用意ヲナスト」ニ「ブレカスト」廿日昨日「ローマニヤ」勢ハ「グリウイツア」第二ノ砲台ヲ三タビ攻メタレドモ利アラズ

同廿三日

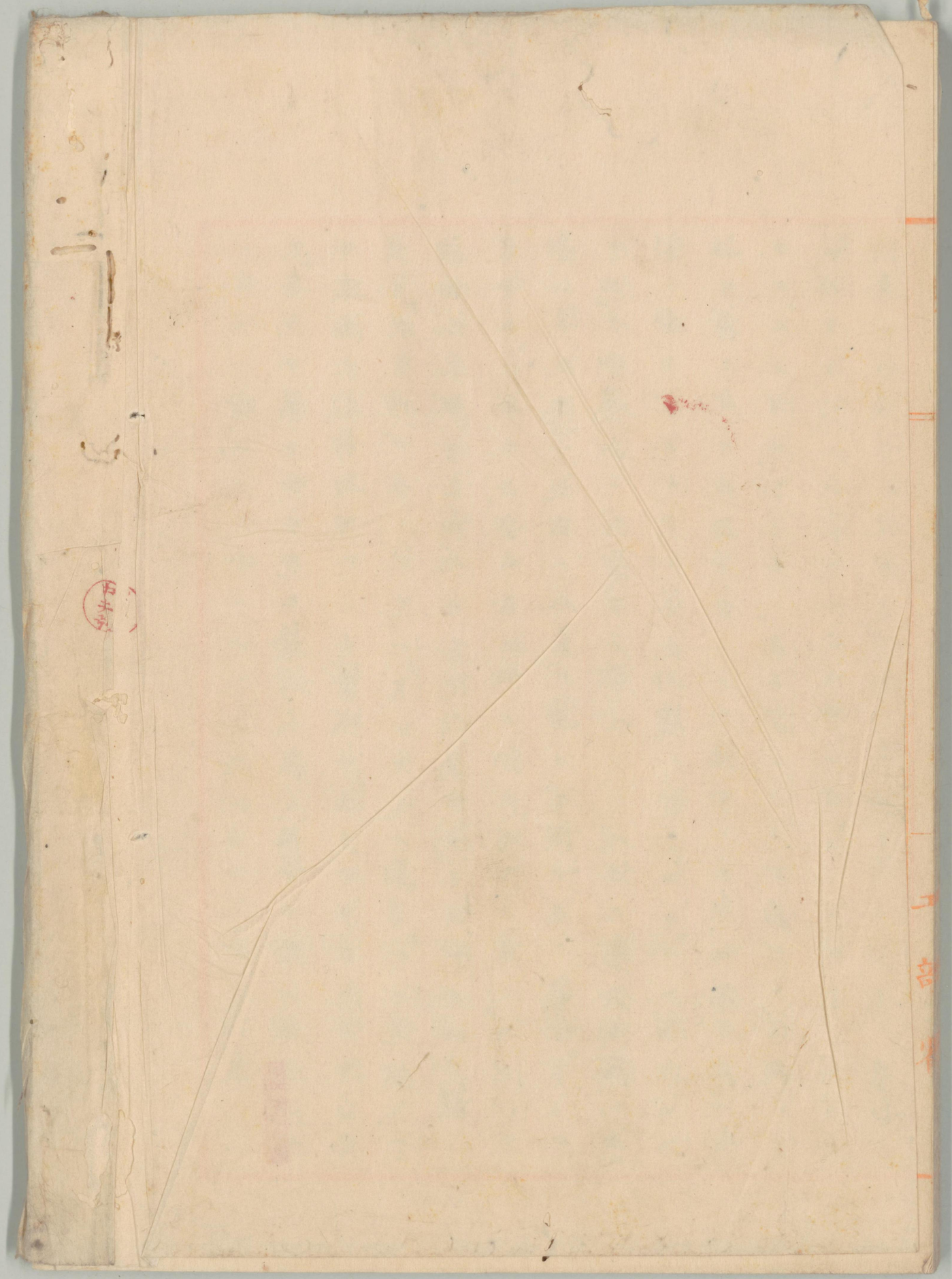
「ゴルニスツデン」廿一日「ニコラ」親王ノ公報ニ云ク「ローマニヤ」歩兵四大隊ハ回メヨリ十九日午後十二時半「ローマニヤ」ノ敵ノ兵営ニ突進ヲ出テ敵ノ墓場ヲ攻メタレドモ敵ノ兵発劇レタニヨリ終ニ利ヲ得ズメ退ケリタ六時半「ローマニヤ」第四「ゲフヒレヨン」ノ中ナル歩兵三大隊ヲ以テ再タビ敵ノ砲墓ヲ攻ム此時「ローマニヤ」勢ハ砲台ノ廻リニアル堀内ヘ飛ビ入リ凡ソ一時間大ニ戦ヒ必ラズ此砲台ヲ抜ントセレドモ又其志ヲ得ル能ハザリシ如斯「ローマニヤ」勢ハ敵ノ砲台ニ近ク攻メ寄セ堀ノ内ニ暫テ在リシヲ以テ一旦ハ砲台ヲ抜キタリトノ説起レリ「ローマニヤ」勢ノ亡ク損ハ死士官二人卒二百人傷士官二十人卒七百人

「キエルクダテ」廿一日ノ私報ニ云ク「我兵ハ「ムクタルバシヤ」ノ敗乱セシ敗兵ヲ日々ニ捕ヘ目下生捕士官二百八十人卒七千人ニ至リ分捕大砲四十二門ニ及ビ「ムクタルバシヤ」ハ「エルゼルム」ニ走レリ我本営ハ「カルス」ノ南西ニアル大「カクマ」ヲ移シテ「カルス」城ヲ囲メリ「イスマイルパシヤ」ハ兵ヲ引揚ルニヨリ「テルグカソフ」ノ兵之ヲ追フ

維納廿二日「ホシガリヤ」新聞ヘ君士坦丁府ヨリノ報ニ土政府ハ魯國ニ於テ左ノ條ヲ承諾スルニ於テハ休戦ニ

同意スベク、第十住戦ハ四月一
日迄ト限ルコト、第二魯勢ハ
「ヤルタ」河ノ左岸ニ止リ右岸ニ止ルベ
キコト「ヤンタラ」河ト「ロム」河ノ間
ニアル住民ハ土政府ヨリ
税ヲ取リ且ツ兵役ニ募ルベキ
権アルコト第四不規兵ハ本
陣ノ後ニ置クベキコト第五住家
ヨリ追出サレシ「ボルガ」
リヤノ「コサック」民ハ其家々ニ帰ラ
レムベキコト第六休戦中魯
勢ハ「ボルガリヤ」内ニ鉄道ヲ築ク
ヲ得ザルコト第七「モンテ
テ子ガロ」「ボスニヤ」勢ハ右ノ件ニ
関スルコトナシ
龍動廿二日「ダイレクト」ニ聞ク「ラヤル」ヨリノ報ニ
「セテ子テルヘイヤン」ハ「エルゼム」ニ進ミ「カルス」城ハ全
ク取囲ミテ降伏スベシト言入
レタリ「ケ子テルラザレヴ」
「ネスマイルズレヤ」ヲ襲ハシ
為メ出発セリ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1



国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 407-1